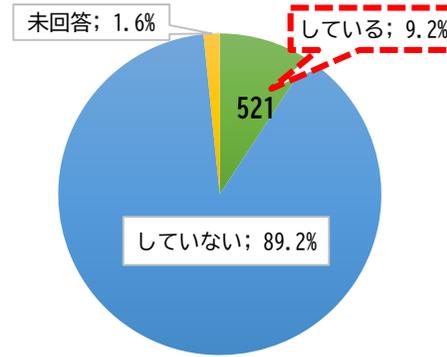


別府市ヤングケアラーに関するアンケート調査結果（概要）

- 調査目的
 - ・ヤングケアラーの周知を図り、こどもが理解を深めることにより、自分自身が「ヤングケアラーではないか」という気付きにつなげる。
 - ・表面化しづらいヤングケアラー（疑いを含む）や、困りを抱えたこどもを発見し、相談支援につなげる。
- 調査方法
 - 別府市内の学校において、ヤングケアラーとこどもの権利についての学習会を実施後、WEB（ロゴフォーム）で記名式アンケートを実施（回答任意）
- 調査期間 令和5年9月～令和6年3月
- 調査対象 別府市内の学校に在学中の小学4年生から高校2年生

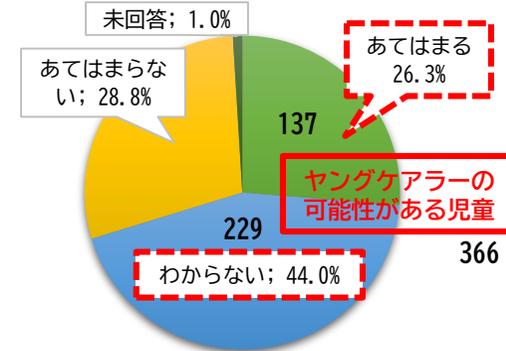
	対象児童数	回答数	回答率	対象校
小学生（4～6年生）	2,594	2,229	85.9%	15校（うち私立1）
中学生	2,667	2,225	83.4%	8校（うち私立1）
高校生（1年・2年）	1,585	1,204	76.0%	4校（うち私立2）
合計	6,846	5,658	82.6%	

お世話や家事をしているか



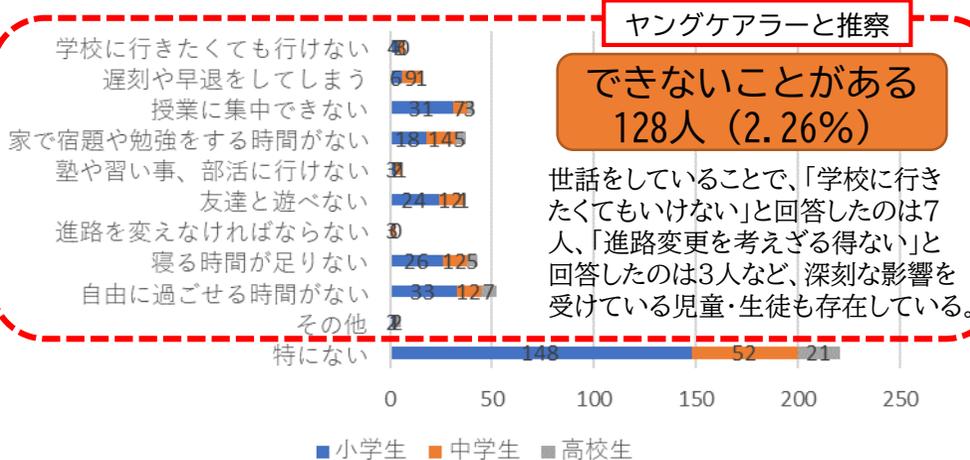
- 家族の誰かのためにお世話や家事をしていると回答したのは、回答者全体で9.2%

ヤングケアラーにあてはまるか



- お世話や家事を「している」と回答した児童のうち、ヤングケアラーに「あてはまる」「わからない」と回答したのは、70.3%

◆やりたいけどできないことがあるか 【複数回答】

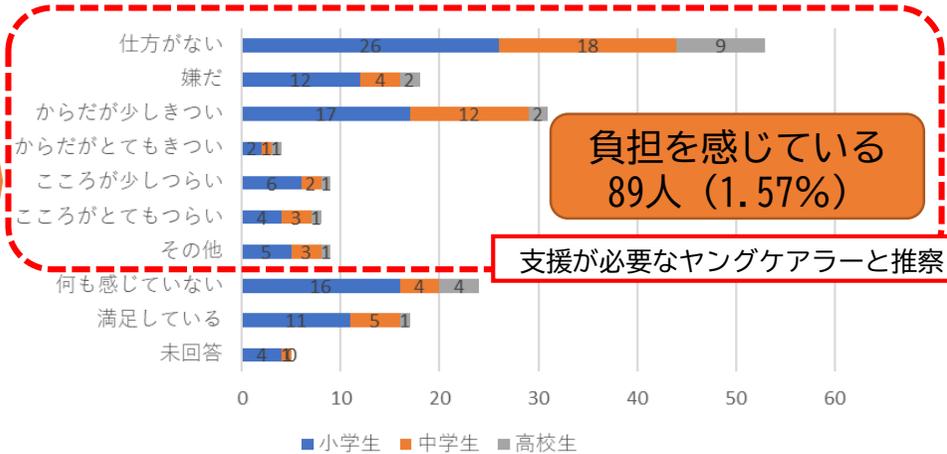


ヤングケアラーと推察

できないことがある
128人（2.26%）

世話をしていることで、「学校に行きたくても行けない」と回答したのは7人、「進路変更を考えざるを得ない」と回答したのは3人など、深刻な影響を受けている児童・生徒も存在している。

◆家事やお世話をどのように感じているか 【複数回答】



負担を感じている
89人（1.57%）

支援が必要なヤングケアラーと推察

- ・ 家族の誰かのためにお世話や家事をしているためにやりたいけどできないことが「ある」と回答した児童は回答者全体の2.26%（128人）。このうち、家事やお世話をするに「負担を感じている」と回答した児童は回答者全体の1.57%（89人）であった。この結果を今回の調査対象者に当てはめると、ヤングケアラーが約155人、そのうち支援が必要なヤングケアラーが約107人いると推察される。
- ・ 本調査で回答のあった89人については、学校と情報を共有しながら個々に対応し、順次支援を開始している。